

長崎県対馬病院研修記 「地域医療研修」 2019.11.1～11.30

社会医療法人 天神会 新古賀病院

臨床研修医 2年目 富安 柚乃

福岡県の新古賀病院初期臨床研修医 2年次の富安です。地域医療研修として1ヶ月間お世話になりました。

短い間でしたが、病院関係者の皆様に温かく接していただき、アットホームな環境で伸び伸びと研修生活を送ることができました。

私は生まれも育ちも福岡ですが、大学受験の時に、将来は生まれ育った土地に医療という形で恩返しをしたいという意思もあり、地域枠推薦で入学しています。そのような経緯もあり、地域医療には以前から関心がありまして、今回、対馬での離島医療に携われることを楽しみにしていました。

診療の場や飲み会でお話をさせていただき、多くの先生が熱い想いを持って対馬での医療に臨まれており感銘を受けました。また、先生方は非常に勉強熱心で、医療を介して対馬の住民の方が安心して暮らせるような地域づくりをされていると思えました。離島であるがゆえに制約される治療もあるかと思いますが、必要に応じて速やかに本土に搬送する体制も整っていると、自分自身もへり搬送になった症例を経験して感じました。

研修としては小児科にて入院管理、外来業務に携わる中で、日々症例数の多さに圧倒させられました。対馬全体で人口は3万人程度ですが、総合病院が少ない

ため対馬病院に多くの症例が集まっており、臨床力の向上にももってこいの病院であると思えました。

小児科の先生方にはお忙しい中、丁寧なご指導のもと診療に当たらせていただき感謝しております。

地域医療研修としても、小児科研修としても充実した研修となりました。将来的に目指したい医師像についても改めて考えさせられ、貴重な1ヶ月となりました。

